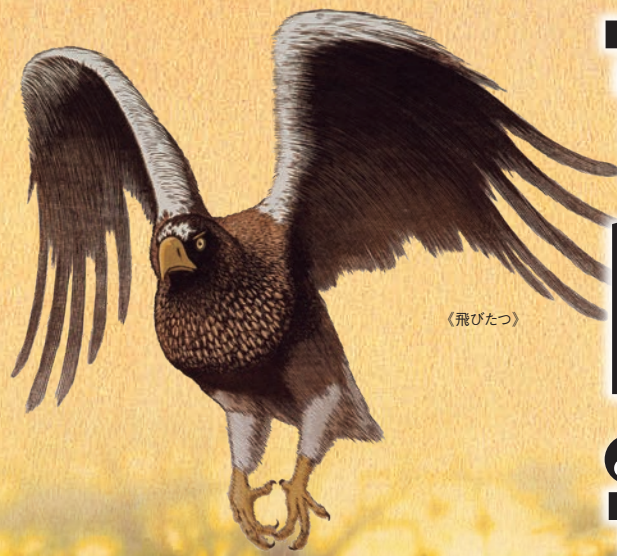


府中市美術館

Fuchu Art Museum

可愛いだけが動物ではない
弱肉強食だけでもない。
吉田遠志は、アフリカで
水辺を譲り合って仲良く暮らす
野生の動物たちの
平和な「共存共栄」の姿をみた。
遠志は描いて訴える
地上の原理を人間も守れと。
野生動物は、愚かな人間を
じっと見つめている。



《飛びたつ》

吉田遠志展

市制施行70周年記念 自然、生命、平和
——私たちは見つめられている——



《シマウマ》

《ライオン》

Nature, Life and Peace
The Earth Is Watching You. YOSHIDA Toshi

2024 7.20土 — 9.6金

休館日：月曜日[8月12日は開館、翌13日(火)は休館]
開館時間：10時～17時(最終入館は16時30分まで)
観覧料：一般 800円(640円)、高校生・大学生 400円(320円)、
小学生・中学生 200円(160円)

* ()内は20名以上の団体料金。*未就学児無料。*障害者手帳(マイリD可)等をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
*コレクション展もご覧いただけます。*府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」提示で無料。

主催：府中市美術館
協力：丸山晚霞記念館 吉田版画アカデミー 吉田家 (一社) 太平洋美術会 地域美術



《黒豹》

関連展示① 生命の森・夢見る動物たち展

10日間のパステル動物園・開演！
作家／くもさる(パステル画家)
会場／市民ギャラリー
会期／8月27日(火)―9月6日(金)
料金／入場無料

「くもさる」は新進気鋭のパステル画家。動物園に通い、実際の動物をモデルにしてパステルで描き続けてきた。大自然の中で生きてきた動物たちの悠久の声なき心を代弁し、感謝を込め、野生の勇姿に愛らしさを込め、正確で卓越した描写力とパステル技法で描いている。1000点ほどを展示。



《Regulus》

ライブペイントのお知らせ

入場無料 予約不要

午前中2回、昼休憩をはさみ午後3回、各回約50分の予定。
詳細は府中市美術館ウエブサイトをご確認ください。

パステル画家「くもさる」さんが大きな紙に描く動物に会いに来てください。
8月31日(土)、9月1日(日) エントランスホール

関連展示② #好きを探して ミュージアム

会場／常設展示室
会期／7月20日(土)―9月6日(金)
料金／一般200円(150円)、高校生 50円(30円)
100円(80円)、小・中学生 50円(30円)

※ ()内は20名以上の団体料金 ※府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」提示で無料 ※企画展「吉田遠志展」のチケットでご覧いただけます

美術館に並んでいる作品って、綺麗な果物や風景だけじゃない。四角が並んでいる絵、色が爆発したみたいな絵。いろんなものが貼ってある。絵？なんだかよく分からない、見ていて困っちゃうような作品だって並んでいる。

そんなときは、「あ、好き。」って思える作品を探してみよう。舞い踊る色や形にドキドキしたり、面白い物語が浮かんでウズウズしたり、どんな人が何を思ってたのか、気になってしょうがなかったり！君は、どんな風にして「あ、好き。」を見つけるだろう？好きな作品、好きの理由、好きな見方。自分の中にいろいろな「好き」探しにチャレンジしてみよう。



山本麻友香 (ペンギン)



O JUN (天神二号水源)



吳亜沙 《My Position -comings and goings-》

ワークショップのお知らせ

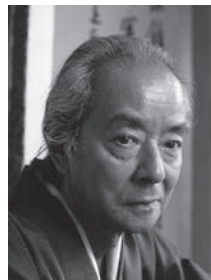
詳細は府中市美術館ウエブサイトをご確認ください。

8月2日(金)、3日(土) 色と模様のひみつつき
8月17日(土)、18日(日) 夏休み自由工房

関連トークイベント

父、吉田遠志について

会場／府中市美術館・講座室
日時／7月27日(土)
午後2時から
予約不要
講師／吉田司
(吉田版画アカデミー)



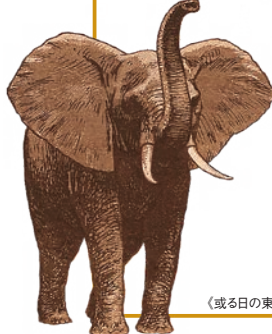
吉田遠志 肖像

展覧会講座

講師 志賀秀孝(当館学芸員)
8月10日(土) 午後2時から
(60分程度)
1階講座室 予約不要 無料

会期中、動物絵本シリーズの原画も全点公開！

週ごとに展示替え予定



《或る日の東アフリカ No1_ゾウ》

市民ギャラリー特別展示

「市制施行70周年記念 競馬場とケヤキ並木」
7月20日(土)～8月12日(月・休)

公開制作「鶴飼美紀」
7月20日(土)～12月1日(日)

本展関連イベントの詳細などはこちら↓



〈交通案内〉

- 京王線東府中駅北口から
・徒歩17分
・ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」①下車すぐ(8時5分から毎時30分間隔で運行、100円)
- 京王線府中駅からバス
・ちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」①下車すぐ(8時から毎時30分間隔で運行、100円)
・武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ
・武蔵小金井駅南口行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
・国分寺駅南口行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」④下車徒歩8分
- JR中央線武蔵小金井駅南口からバス
・府中駅行き(一本木経由)「一本木」①下車すぐ
・府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
- JR中央線国分寺駅南口からバス
・府中駅行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」⑥下車徒歩8分
- お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、54台収容)をご利用ください。

府中市美術館
Fuchu Art Museum

東京都府中市浅間町1-3
ハローダイヤル 050(5541)8600
https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/





《警戒》

1995



《清麗の舞い》

1955
1972
1979
1982



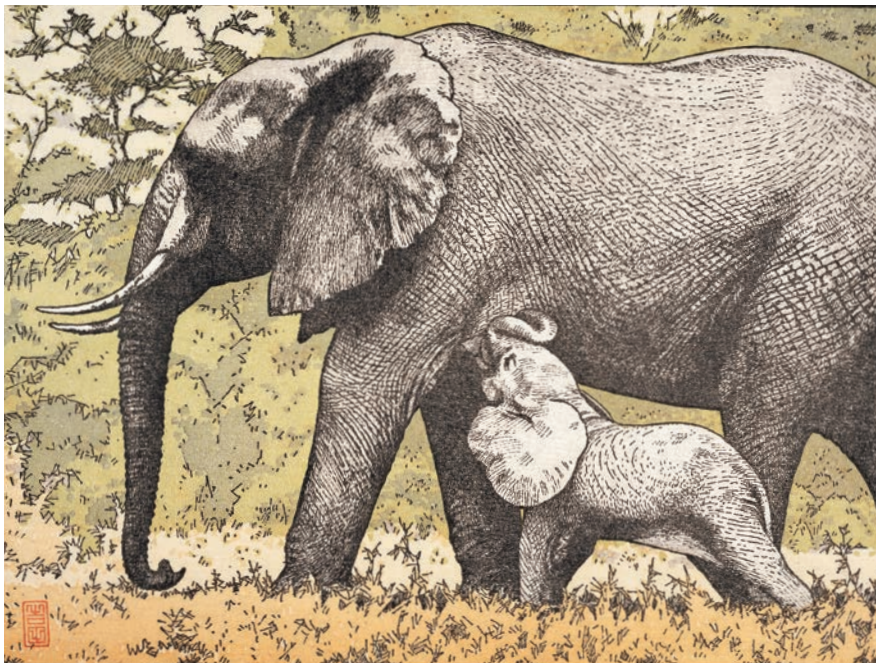
《伊豆石廊崎 昼》



《浦安》



《たいこ橋》



《ゾウ》

僕（野生）の声を聞いてくれ

君（人間）の話を聞こうじゃないか

吉田遠志（よしだとおし 1911～1995）

父は明治の天才画家吉田博。母ふじを、弟の穂高、その妻千鶴子も版画家であった。息子の司、姪の亜世美も世界で活躍し続けるアーティスト。遠志はこの芸術一家吉田ファミリーを支えつづけた。芸術は、常に一家の中心にあった。

活動の舞台は世界

父・博のもとで日本の伝統木版画の技術を磨いた。父は、水彩画で日本の風景の素晴らしさを世界に伝えた。遠志は、木版画の実演と講習で全米、欧州を巡遊し、取材はアフリカや南極など世界各地に及んだ。

野生の声を聞け

アフリカで大好きな野生動物を見た。動物たちは、ひとつの水場を分け合い仲良く暮らした。ライオンや象から生命を紡ぐ厳しさと尊さを感じた。遠志は、人間も野生動物に学ぶべきだという。アフリカの大地を素晴らしい色彩（色鉛筆画）で描いた。数百枚の原画から17冊の「絵本シリーズ」を刊行した。可愛いだけが動物ではない。むしろ愚かな争いを繰り返す人間が手本にすべき存在である。

世界の政治家にも読んでほしいと遠志はいう。遠志は、生命そのものを抽象化した。誰も見たことの無い不思議な木版画ができた。世界最大の木版画を作ってみよう。できた版画はみんなで楽しんでほしい。大地に生きるものたちと「共存共栄」を願った。

吉田遠志の初めての回顧展を開催いたします。

吉田遠志の画家人生

1911 東京に生まれる。画家吉田嘉三郎は養子に上田博を迎え、博を画家とした。嘉三郎の実娘「ふじ」は後に博と結婚し二人は遠志の父母となる。1歳で、ポリオに罹患、足を患う。祖母と動物園にスケッチに行くのが楽しみだったという。
1924 伝統木版画を本格的に始める。
1930 インド、東南アジア旅行を父と。
1939 大学ではなく太平洋美術学校で絵を学び、以後太平洋画会展、日展、アンデパンダン展にも出品する。
1953 全米で木版画技法講演（ニューヨーク・ジャパンソサエティ協力）
1955 全米で講演。弟、穂高と実演。
1972 アフリカ自然公園を訪れ衝撃を受ける
1979 長野・美麻村に美術学校設立（焼失）。当時世界最大の幅2m11cmの多色木版画を制作。
動物絵本シリーズを20巻計画し1993年まで17巻を刊行。ポロニア国際絵本原画展でエルバ賞（84）、読売新聞「絵本にっぽん賞」（85）、産経児童書賞「美術賞」（85）、フランス・レコル・デロワジュール社「翻訳出版賞」（86）、児童書世界大会で「国際オーナリスト賞」（86）、フランス・エヒアン「異文化理解貢献賞」（90）など多数を受賞した。

7月 逝去 83歳。同年11月に弟穂高も逝去。

《かれえだ》



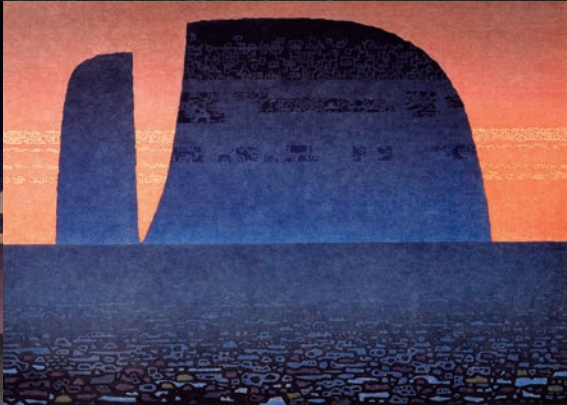
《リカオン》



《キリマンジャロスペシャルエディション》



《Should not Use》



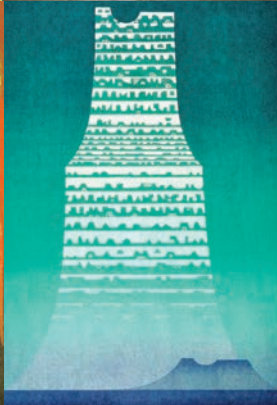
《Lost World》



《ある日の記憶16 サンゴ》



《Mirage》



《Atomsphere》



《Post History》



《バオバブの木と犀》